

(別紙3)

地球温暖化対策計画実施状況報告書の概要(公表用)

1 事業者の概要

| | | | |
|-------------|------------------------------|--------------|---------------------|
| 法人名 代表者名 | ユニオンマシナリ株式会社 代表取締役 三田村 健一 | 市内の 主たる住所 | 相模原市 中央区 上溝 1936-19 |
| 主たる事業の内容 | 自動車及び建機等の電気車載部品 設計・製造 | | |

2 計画期間

| |
|---------------|
| 令和4年度 ~ 令和6年度 |
|---------------|

3 報告対象年度

| |
|--------|
| 令和 4年度 |
|--------|

4 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況

| | | | |
|------------------------------|-----------------------|-----------------|-----------------------|
| 基準年度 排出量 | 960 t-CO ₂ | 報告対象年度 排出量 | 986 t-CO ₂ |
| 排出削減量 | -26 t-CO ₂ | 報告対象年度 排出削減率 | -2.7 % |
| (原単位を設定した場合) 報告対象年度原単位排出量削減率 | | | % |

5 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況に関する説明

| |
|--|
| <p>考察： 今回「中小規模事業者省エネルギー対策等支援事業」で高効率空調設備1台、高効率照明設備48台を更新したことにより19,540kWh/年の削減を見込んでいましたが、見込量以上の生産数量増加により基準年度比+3%の消費電力量増加という結果となりました 消費電力量増加の内訳は、本社工場が-150kWh/年と微減ながらも、テクノ工場は103,725kWh/年の増加が影響しています。 消費電力量増加の原因は、本社工場・テクノ工場共に製品生産数量の増加が考えられます。(本社工場：基準年度比+45%、テクノ工場：同+7%増加) 今後の対応策： 「消費電力量の見える化」対策を実施する予定です。これにより「動力」と「空調」の消費電力量が個々に数値化出来ることにより支援事業で更新した設備の省エネルギー削減効果が数値で確認出来ます。 従来より実施していた運用改善の継続に加え、社内設備の高効率化を更に進めて参ります。</p> |
|--|

6 温室効果ガスの排出の抑制等を図るために実施した措置の内容

| 措置の内容 |
|----------------------|
| 1. 空調設備を高効率型に更新(1台) |
| 2. 照明設備を高効率型へ導入(48台) |
| |
| |

7 その他地球温暖化対策の推進に寄与する取組等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・弊社で使用している車両については、更新毎に省エネや温暖化対策に効果のある物を選定しています。(ハイブリット車、EV車)・商品発送時に使用する梱包材については、専用トレーを製作しリユースを行っています。これによりビニル等を削減しています。治具専用梱包機を使用して、梱包材の材質も有害物質が発生し難い物を使用しています。・社内で発生したごみは、一般ごみ(可燃ごみ) プラスチックごみ 段ボール 産業廃棄物に選別して廃棄しています。 |
|--|